

令和 6 年

第 4 回教育委員会会議録

(開会 令和 6 年 3 月 26 日)

(閉会 令和 6 年 3 月 26 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和 6 年 3 月 26 日 午前 9 時 00 分開会

会場：市役所 5 階第 1 委員会室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

長井知子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

梶田知靖君（教育委員）

欠席委員

小栗照代君（教育委員）

説明のために出席した者

飯田晋司君（事務局長）

水野 修君（教育総務課長）

佐野政紀君（学校教育課長）

水野伸治君（学校給食センター所長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

三宅愛彦君（教育研究所主任指導主事）

真野純次君（学校教育課指導主事）

可児浩之君（保育課長）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

小池拓哉君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回、前々回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第 9 号 第 3 期可児市教育振興基本計画の策定について（原案可決）

②議案第 10 号 可児市学校運営協議会の委員の委嘱について（原案可決）

6 報告事項

①令和 6 年度のキッズクラブ入室申請状況について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） これから令和 6 年第 4 回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということでよろしくお願いいたします。

前回、前々回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） 前回、前々回の会議録の承認について。
- 教育総務課長（水野 修君） 前回、前々回の会議録に変更はございません。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということで、よろしくお願いします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） では、教育長報告でございますが、3 点お願いをします。

まず 1 点目ですが、私、3 月の議会で再任が決定いたしました。この 3 年間大変お世話になりました。また次の 3 年間は 4 月からスタートということでございます。よろしくお願いします。

就任して 3 年ですが、ここにおられる教育委員の方々、そして事務局の方々のおかげで笑顔の学校づくりの第 2 ステージの取組の基盤ができ、そしてもう既にいろんな成果が出ているということを思って感謝申し上げます。

そして、そういった成果の下、次の課題も明らかになってきております。課題というか、こんなことをやってみようというようなものも明らかになってきていて、私としては大変ありがたいということで、この場をお借りしまして教育委員の方々、事務局の方々に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今申し上げましたこの 3 年間の成果と次の方向ということでございますが、それらが端的にまとめられたものがございます。それはこれです。令和 6 年度の可児市学校教育指導の方針と重点、このリーフレットが成果と今後の方向をまとめたものと思っていますので、ここで簡単に、これまで話をしたことと重なる部分もあるんですが、簡単にお話をさせてください。

まず 1 ページ目ですが、このページは「笑顔の“もと”」の理念がつづられており、笑顔の学校づくり第 2 ステージの理念がここで述べられています。

そして、2 ページを御覧ください。

可児市教育大綱と可児市教育振興基本計画に触れてあります。可児市教育大綱につきましては、昨年の総合教育会議で教育委員と市長が協議をされて、市長から出されたものでございます。その大綱を受けて、可児市教育振興基本計画が策定されております。本日も議題にその基本計画が出されますので、協議いただきたいと思いますけれども、この 2 つもこの 3 年間の大きな成果ではないかと思っております。

また、このリーフレットは 3 年間の成果と方向を示しているものなんだということを先ほどから申し上げているわけですが、言い換えれば、可児市教育振興基本計画のダイジェスト版でもあると考えていただけるとありがたいと思います。ただ、教育環境、校

舎の改築等、大規模改築・改修等、教育環境を整えるということについてはここには直接触れられておりませんが、教育指導という面での教育基本計画のダイジェストと捉えていただけるとありがたいと思っています。

そしてその次のページ、見開きになりますけれども、左側のページを御覧ください。

これも何度もこれまで示しているものでございます。来年度以降も、学校には特色ある教育活動を求めていきたいと思っています。その成果がもう既にいろいろ出てきているとは思いますが、今後も求めていきたい。コミュニティ・スクールにつきましては、来年度は市内16校全て導入ということになります。これも本当に皆さんのおかげで、ありがたいと思っております。

そして、各校を支援する重点事業、下に具体的に幾つか書いてございますが、それぞれの教育総務課、学校教育課、給食センターの御担当の方々による取組が網羅されております。特に来年度につきましては、「未来を生きる あなたのために」、左一番上ですが、不登校対策につきましては、**第二のスマイリングルーム**、そして人材を拡充して、さらなる取組を進めていくということでございますし、それからその下、「みんなななこ」、外国籍児童・生徒、多文化共生につきましては、人員を1人増やします。この4階のフロアに県教育委員会から1人割愛をいただくということで、これにより学校教育課課長、主任指導主事をはじめ、学校から出向というか、来ていただいている方が計10名となります。大変これもありがたい話だと思っております。

ほかにも、小規模特認校につきましても、ここにきちんと位置づけを続けていきます。これは後で兼山小学校の卒業式の報告にも触れたいと思います。そして、「がんばれななこ！給食」につきまして、これも本当に素晴らしい成果を上げていただいております。今後もさらに充実をしていただきたいと思いますと思っております。

さらにですが、一番下、公表会とキャリア・パスポートにつきましてなんですが、教育委員さんの机上に研究所だよりがあるかと思えます。

この研究所だより、3月15日に発行ということでございます。この中、ちょっと開いていただくと、2ページ、3ページ、4ページ、5ページあたりで、「笑顔の“もと”」を、授業を中核としてどう高めていくのかということについて取り組んだ内容がまとめてございます。教育委員さんには、公表会にも参加をしていただいておりますので、大体中身も分かるかと思いますが、こういった公表会のまとめということで、研究所だよりで広められています。そして、日々の授業の取組を学校所員会の取組ということで2ページにまとめられています。

さらには4ページを御覧ください。

広見小学校の公表会のページの3番です。下のところ、今の笑顔を未来の笑顔につなげるためにとありますが、ここにはキャリア・パスポートにも触れていただいております。

ということで、先ほどのリーフレットに戻るわけですが、いろいろあちこちしてすみません。

このページ、今説明をしたこのページに、本当にこの3年間で取り組んだことを位置づけているということ、そして新たな方向もそれぞれの学校が見いだしているということでございます。

さらにですが、このページの上、「笑顔の“もと”」のロゴマークに吹き出しが1、2、3、4と書いてございます。これは昨年度のリーフレットにはなかったものです。この1番、2番、3番、4番については、また時間を取って私から説明をさせていただきたいと思っています。特色ある教育活動を各学校が進めていく。その各学校の特色ある教育活動を教育委員会が支援していく。そういう中で、この4つを大切にしていきたいという新たな方向を示したものでございます。また、時間があるときに説明をさせていただきたいと思っております。これが大きく1点目でございます。

2点目は、能登半島地震のことでございますが、この震災現地活動報告というのが2月16日にオンラインで行われました。県庁と各市町村をつないだものでございまして、県の依頼を受けて被災地の支援をしているその状況だとか、課題について共有される会議でございました。

そこで、以前お話をさせてもらったかもしれませんが、県教委の職員で現地の中学生の学習支援に向かった方がいらっしゃって、その方の報告を聞きました。大変印象的だったのは、とにかく自分の家を離れて学習を続けている子供たちの、その支援をしている職員の指導によって分かった、できたというときの歓声が、子供たちが声を上げて喜んでいる様子が、本当にやってよかったな、うれしかったという教職員の言葉でした。

そしてもう一つ印象的だったのは、これは中3の子なんだけど、3月、もう終わったんだけど、入試を控えているということで願書を書いたそうです。つまり、これは被災によって受験票等の紛失というか、消失があったのかと思うんですが、改めて書いたと。願書には自分の名前とか住所って書きますよね。住所を書きました。そのときにぼそっと、俺、住所書いたけど、家もうないし、戻れんかもしれんというような話をしていたそうです。大変印象的でした。2月16日の時点で、そういったことも含めた被災地への支援の状況が報告されております。

可児市においても、以前も報告させていただいておりますが、当初より可児市の職員が入れ替わり立ち替わり支援を続けていて、数十名の職員が被災地支援に行っているということのようです。本当に可児市の動きもすばらしいということを思っています。

教育委員会事務局からもこのたび2名行くということで、この支援は続いています。その支援は、幹部の情報共有のアプリがありまして、L o G oチャットというんですが、そこにその都度、支援に行かれた方のコメントが共有されます。こんなことが書いてあります。

3月23日土曜日、避難所支援12クール、宿舎出発、支援業務に向かいます。こちらの担当が、お疲れさまです。深夜までの支援になりますが体調管理にも気をつけてくださいなんていうやり取りがずっと続いているんです。本当に私たちはいつも言っていますが、被災地のことを忘れないという視点をきちっと持っておきたいということを思いますし、今回教育委員会事務局から派遣される2名の方の報告もどこかでさせていただけるんじゃないかということを思っています。2人の努力に期待をしたいと思っております。これが大きく2点目です。

3点目です。卒業式につきまして報告をさせていただきたいと思います。

私は、西可児中学校と兼山小学校に出向きました。

西可児中学校は、学年チーム担任制をしいて、今年大きな成果を上げている学校でござ

ざいます。卒業式も学年チーム担任制の卒業式ってこうなるんだなと思いました。つまり、学級担任がいないので、通常、体育館の入場の先頭は学級担任、そしてその後は生徒がということで1クラス、2クラス、3クラスと入りますよね。そうではありませんでした。体育館、生徒の椅子とステージの間に学年主任はじめ学年の所属の教職員が整列して、起立して卒業生を迎える。卒業生は順番に学級ごとに入ってくる。そして、卒業生の名前を読み上げて証書を渡します。そのときは、学級担任制であれば、自分の学級の生徒ということで学級ごと、途中に特別支援学級の子もいますので、特別支援学級の担任も入ってという形なんですけど、西可児中学校では、読み上げはそれぞれの各クラスを1人で読み上げるのではなくて、各クラス数名ごとを担当が読み上げるというような形です。ほかにもいろいろ違うところはあったかと思ったんですけども、学年チーム担任制の卒業式ということで新鮮な思いで見せていただき、そしてそういったやり方を子供と先生たちで考えてやったということをお聞きして、本当に素晴らしいと思いました。

そして、兼山小学校の卒業式でございますが、ここは小規模特認校で小規模での活動を売りにしている学校でございます。卒業生10名全員来ておりました。そして、卒業証書授与は一人一人に文面を読み、一人一人に丁寧に渡されておりました。そして、さらには証書授与の後のセレモニーで、一人一人が6年間で身につけた力を語る。1分程度でしたが、堂々と語っていました。挑戦する力が身についたよ、仲間と協力することの大切さが分かったよということが一人一人の事実とともに述べられていた。まさに、これは未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」です。6年間で身につけた力。きっと教育委員会のそういった施策を踏まえた取組かなということで、大変うれしく思いました。

以上、この2つの中学校・小学校の卒業式を紹介させていただきましたが、私が思ったのは、卒業式にも学校の特色が出るんだということです。先ほどこのリーフレット、各校の特色ある教育活動を私たちは一番願っている、それを支援していくという立場なんですけれども、西可児中学校、兼山小学校の卒業式にはそれぞれの学校の教育活動の特色が表れていると思いました。今後も特色ある教育活動の推進という視点で学校を見ていきたいと思って、紹介をさせていただきました。

以上で教育長報告を終わりたいと思います。

教育委員報告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、次に教育委員報告に入りたいと思います。
- 教育委員（長井知子君） おはようございます。よろしくお願いします。

私は、中部中学校と広見小学校の卒業式に行ってきました。

その中ですごく印象に残ったのは、広見小学校です。昨日なんですけれども、校長先生が祝辞の中で、たしか学校目標を言われていたと思うんですけども、子供たちに、あなたたちは学校目標である「ために」ということを頑張ってきましたねと言われたんです。その「ために」というのは、人のためにとかもあるんですけども、挨拶運動で気持ちよく挨拶するためとか、運動会で勝つためとか、その先にそのために僕は私はどうする、何をすることにつながって、生きていく上ですごく大切になる逆算ができるということにつながっていくから、すごくいいなと。そして、まだまだ小さい

子供たちにとって、抽象的な言葉でなくて、具体的な「ために」というのは分かりやすいと思いました。

これから中学校に入り、多感な時期に入り、高校生になって社会に出ていくわけですが、人間なので、これから生きていくと不満や愚痴も出てくると思うんです。そこで止まっているとどうしても苦しくなってしまうので、そうではなくて、そこから自分はどうしたいのという、私はこうしたいんだと考えられるようになると、生きていく上で楽というか、生き抜く力をつけていけると思うので、小学校からそういった考え方を身につけさせるというのは、生きていく上ですごくいいなと改めて思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

奥村校長の式辞を長井委員流に解釈をされたお話かなと思いましたが、校長は卒業式の式辞に自分の教育観をつづりながら、子供たちへのエールを伝えるんだらうと思うんだけど、奥村校長は、前任の学校でもそうだったんだけど、挨拶をととても大切にされている。挨拶には生きる基盤というものがあると捉えていると僕は思っていて、すごく教育観、確固たるものを持っておられるなといつも感じているんだけど、やはり式辞にも挨拶が出たわけですね。

「笑顔の“もと”」を主張してほしいと私が言っている中に、いつも教育観から「笑顔の“もと”」が導き出されるはずなのではないかと言っているけれども、奥村校長の式辞の話をお聞きして、私が言っていることも伝わっているのかなということも思いながら大変うれしく思いました。ありがとうございます。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願いいたします。

卒業式は、広陵中学校と帷子小学校に行ってきました。校長先生の式辞の中で、広陵中学校は幸せな感じ方が3つあるという話がありまして、自分で何かを達成したときの幸せの感じ方、もう一つがほかの人から受けた幸せの感じ方、もう一つ最後に自分がほかの人に何かを行う幸せの感じ方という話がありまして、ちょっとうなずきながら聞いていたんですけど、校長先生は、今まで皆さんが育ってきた中でいろいろ幸せを受けてきたことが多いと思うので、今度は自分がほかの人に何かをするというか、意図的にじゃないですけど、何かをすることによって幸せを感じてほしいというのを言ってみえたのがすごく印象的でした。

小学校のほうは、コロナが5類になったということで、マスクもなく、きちんと合唱を聞くことができまして、帷子小学校は今少し人数が多めで105名いるんですけど、歌は2曲歌ったんですが、すごく久しぶりに子供さんたちの声を聞いたというか、きれいな声ですごく力強く感動させられる、何とも言えないですけど、表現が。皆さんほかの来賓の方も本当にすごくよかったということで、すごく元気をもらってきました。校長先生の式辞の中で、卒業証書には必ず誕生日が入っています。その誕生日は、皆さんが生まれたときで、生まれてから多くの人々に支えられてきました。その命はほかの人にとっても同様のなので、ほかの人の命も大切にしてくださいという、ああ、すごくいいお話だなと思って聞いていました。続いて人生は選択の連続だと、必ず自分で決めてくださいと。迷うことがあるかもしれないけど、親とかほかの人から言われると、結局何か駄目だったときに人のせいにすることになるから、必ず自分で決めてください、そ

の積み重ねが自分の人生をつくっていくんだよというお話で、改めて自分にも言い聞かされた部分もありますし、自分の子育ての振り返りにもなって、いい式を見せていただいたと思って参列させていただきました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** これも校長のお話を紹介していただいたんですけれども、2人の校長先生の生き方というか、教育観を感じるお話ですばらしいですね。

また、コロナ禍の前に卒業式も戻ってきたなど、先ほどもこの会議が始まる前にも話題にさせてもらいましたけれども、来賓の方々もお招きして、そして小学校では今話があったように合唱もということで、大変すばらしい卒業式になったようで、私もうれしく伺いました。ありがとうございました。

- **教育委員（梶田知靖君）** おはようございます。

先月の終わりに、幼保小連携推進会議へ、ちょっと私は遅れてなんですが、出席させていただきました。その中で、こちらの「笑顔の“もと”」プログラムにもありますけれども、令和5年度も東明小学校で幼保小の架け橋プログラムで、吉田校長先生をはじめ、本当に多くの方々に御尽力いただきました。その中で、吉田校長先生が言っておられた話の中で、幼・保と小学校の垣根が下がったということを言っておられて、これはとてもすばらしい成果があったのではないかと思います。

令和6年度も引き続きこのプログラムがあるということなんですが、こういったことが幼保小との本当の連携が取れて、小さい頃からのお子さんたちの活動が小学校のほうにも生かされて、それこそ不登校が増えていますけれども、そういったところの改善にもつながるんじゃないかと大きく思いました。

それから、私も卒業式は、蘇南中学校と今渡南小学校へ出席をさせていただきました。蘇南中学校では今井校長先生が式辞の中で涙ぐむ姿もありまして、それを見る卒業生の子たちにも泣いている子たちがいて、とてもいい卒業式だったと思います。

それから、今渡南小学校は昨日私も出席させていただいて、登壇に上がったのはPTA会長ぶり、7年ぶりでした。

- **教育長（堀部好彦君）** 懐かしかったですね。

- **教育委員（梶田知靖君）** はい、懐かしかったです。

あそこは、校長室へ入ると、ちょっと当時もそうだったのかもしれませんが、お茶の中に桜の花びらが入っておりまして、当時を思い起こせば、こんなお茶が出たなということのを少し思い出しました。

こちらでもPTA会長の岩井さん、今年3年連続で務められたということで、お子さんはちょうど卒業ということだったんですけれども、こちらの話の中でも、会長さん目頭を熱くされてみえて、とても思いが深かったのかなと思います。

先ほど、伊藤委員がおっしゃられた幸せにというところで、PTA会長の岩井さんも一つだけ子供たちにお願ひがありますということで、幸せを見つけてくださいということをおっしゃってみえました。本当に幸せを見つけることによって世の中がよくなっていて、世界平和にもつながるんじゃないかということを強くおっしゃってみえて、本当に子供たちにも伝わっていったのではないかと思います。

最後に、卒業生の子たちが歌を歌う場面があったんですけれども、6年生の担任の先生を呼んで一緒に歌を歌っていたので、それがとても印象的でした。やっぱりその歌を

歌うと、私も当時のことを思い出してちょっと目頭が熱くなりましたけれども、本当にいい卒業式だったのではないかと思います。

これはちょっと個人的になんですけど、先月、教育委員会で西濃学園に行かれたと思うんですけど、私もとても行きたかったので、ちょっと行くタイミングがずれてしまって、先週の土曜日に私ちょっと個人的に行ってきました。

北浦理事長に2時間程度お話を聞かせていただいて、またちょっと長くなりますので、御紹介はちょっと遠慮させていただきますけれども、とても勉強になりましたので、ありがとうございますとお伝えしてきました。以上になります。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

北浦さんと話をされて。

- **教育委員（梶田知靖君）** そうです。はい。

- **教育長（堀部好彦君）** 北浦理事長の理念をとうとうと述べられたんでしょうね。自分の力で飯を食っていくというのが自立だという。そうでしたか、ありがとうございます。

架け橋プログラムにつきましても御報告いただきましてありがとうございました。まさに本当に小学校と幼・保との架け橋になっていくプログラムだというすばらしいプログラムをつくっていただいたと思っています。おっしゃるとおり、不登校の未然防止にもつながるプログラムだろうと思っています。

プログラムで10の姿という、今、幼・保の世界で言われている自立のための10の姿を目指していくわけですが、その中で特にこの姿を大切にしていこうという協同でしたかね、共に動いていく、そこを大切にしていきたいということを共通理解されて、幼保小で取り組んでおられます。この取組は、小学校1年生に上がったときに、仲間と一緒に学校生活を楽しみながら力をつけていく上でとても大切なんじゃないかと思っています。

もう既に幼・保の先生にお聞きすると、この子、1年生の段階で不登校にならないか心配という子がやっぱりいるそうですので、このプログラムはとても大切ではないかと思っております。

卒業式につきましてもの報告もうれしかったです。梶田委員が見られたところもすばらしい卒業式であったということで、ありがとうございました。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、議事に入りたいと思います。

- **事務局長（飯田晋司君）** 議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおりです。本日議案が2件でございます。

議案第9号 第3期可児市教育振興基本計画の策定について、議案第10号 可児市学校運営協議会の委員の委嘱について、以上2件についてよろしくお願いいたします。

- **教育長（堀部好彦君）** 本日の議事の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

それでは、議案第9号 第3期可児市教育振興基本計画の策定についてを議題といたします。

- **教育総務課長（水野 修君）** それでは、議案書1ページを御覧いただきたいと思います。

議案第9号 第3期可児市教育振興基本計画の策定について。

第3期可児市教育振興基本計画を別紙のとおり定める。令和6年3月26日提出、可児市教育長 堀部好彦。

それでは、第3期教育振興基本計画の策定についてを説明いたします。別紙で新しい資料になりますが、製本前の状態のこの計画書、中身につきましては前回12月の教育委員会会議、また教育政策会議で内容のほうを説明させていただいておりますので、一つ一つということではなくて、このイメージで製本させていただくという形になりますので、一度目を通していただきたいと思います。

これまで6月、9月、11月と教育振興基本計画策定委員会のほうで検討してまいりました。その後、庁内で報告、議会での報告を経まして、今年1月10日から1月31日までの間、パブリックコメントを実施しております。その結果、3人から4件意見が提出されております。パブリックコメントでいただきました御意見につきましては、特に今回資料ありませんが、計画内容に直接影響するものではありませんでしたので、いずれも意見として伺ったものとして取り扱わせていただくこととし、計画の修正は必要ないと判断をいたしました。

これらの手続を踏みまして、昨年12月の教育委員会会議でお渡しさせていただきました計画案から語句等若干の修正をし、お手元のように整えた上で新しい計画書として、3月中に製本、公表いたしまして、4月から第3期可児市教育振興基本計画として運用していくこととさせていただきたいと思いますので、御承認のほうよろしく願いしたいと思います。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御意見、御質問ありませんでしょうか。

〔挙手する者なし〕

先ほども申し上げたように、そこに記されているもののダイジェスト版として、このリーフレットがありますということも併せて確認をさせていただきたいと思います。

では、よろしかったでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

特に御意見ないようですので、この件は原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件について原案のとおり可決といたします。

続いて、議案第10号 可児市学校運営協議会の委員の委嘱についてを議題といたします。

- **学校教育課長（佐野政紀君）** それでは、議案書の2ページを御覧ください。

議案第10号 可児市学校運営協議会の委員の委嘱について。

可児市学校運営協議会規則（令和４年可児市教育委員会規則第３号）第３条に基づき、学校運営協議会委員を委嘱する。令和６年３月26日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記、１．学校名、別紙のとおり。

２．委員名簿、別紙のとおり。

３．委嘱期間、令和６年４月１日から令和７年３月31日。

別紙につきましては、担当から説明をさせていただきます。よろしくお願いします。

- **学校教育課主任指導主事（上北泰久君）** よろしく申し上げます。

別紙２を御覧ください。

今渡南小学校から土田小学校、旭小学校、広見小学校、兼山小学校、西可児中学校区の春里小学校・南帷子小学校・西可児中学校につきましては、今年度それぞれスタートしておりまして、来年度の委員の委嘱として、提出しております。

広陵中学校区ですが、前回の教育委員会会議で議決いただいたところなのですが、網かけの個所につきまして、新規として６名委嘱を行うため、提出させていただいております。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの説明について、御意見、御質問はありますか。よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件について原案のとおり可決いたします。

報告事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは報告事項、令和６年度のキッズクラブ入室申請状況についてを議題といたします。

- **保育課長（可児浩之君）** よろしく願いいたします。

日頃はキッズクラブの運営に関しまして、学校施設の使用ですとか、先生方に大変御協力をいただいております。誠にありがとうございます。

別紙３の資料を御覧ください。

令和６年度のキッズクラブの入室申請状況ということで、１番でございます。

これは各年２月１日現在の状況でございます。グラフを見ていただきまして、一番下の三角の破線のものが、長期休暇、夏休みとか春休みの際の入室を希望する方の推移の状況でございます。こちらは、平成30年度から見ていただきますと、横ばいの状況が続いております。

次にその上、丸の破線のグラフがございまして、これが通年、年間を通して月曜日から土曜日まで預けたいと希望される方の数でございます。こちらは、右肩上がりになってございまして、増加している状況でございます。この長期と通年を合わせた合計が一番上の四角の直線のグラフでございます。令和６年につきましては1,419人ということで、令和５年に対し10人ほど増えている状況でございます。

２つ目、キッズクラブの入室の調整の状況でございますが、大変申請数も多い中で、

可児市といたしましては、低学年、入室の必要性の高い1年生から4年生を優先的に受け入れております。5年生、6年生につきましては、留守番がある程度できると考えられるということで対応しているところでございます。

1年生から4年生の入室状況は、令和5年4月に比べますと6人ほど減っていますが、先ほども話したとおり、全体の申請数は増えていますので、5年生、6年生になっても預かってほしいという保護者が大変多いという状況になってございます。

その下の表に待機者数を記載していますが、通年で23名、長期の休暇のときには56名ということで、通年だと4校、長期だと6校で待機児童が出ている状況でございます。

待機状況を見ていただきますと分かりますとおり、ほとんどが5年生、6年生であり、何とか低学年は受入れができています状況でございます。前年度と比べますと、待機者数79名とありますが、13人ほど減少している状況で、何とか受け入れができるように努力をしているところでございます。

この待機者につきましては、例年4月当初は多いんですけれども、夏頃、夏休みを過ぎると減ってまいりまして、大体9月か10月頃には待機児童はほとんど解消されるという状況が例年の動きになっています。

それから3番目、キッズクラブの主な施設整備といたしまして、令和6年度は大きな施設整備というのはございませんので、特に記載しておりませんが、例年に引き続き夏休みに預かってほしいという保護者が多いですので、Lポート可児を借り、こちらで希望される方の受け入れを考えております。

説明は以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

ただいまの御説明につきまして、御意見、御質問等ありますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

では、私から少しお話しさせてください。もし私の話の後に何かありましたら、遠慮なくどんどん言ってください。

毎年なんですけれども、大変分かりやすい資料、データを示していただきましてありがとうございます。しっかり取り組んでいただいているということで感謝申し上げます。

最近、新聞やテレビ等で放課後の子供の居場所というところに加えて、朝の居場所とか、幼稚園・保育園のときはよかったんだけど、小学校になると、親が園に送ってから仕事に行くということができなくて、子供より自分が早く仕事に行かなければならないので、子供の朝の居場所がないという報道が結構あって、仕事を変えざるを得ないなんていう、子育て支援の視点からの報道を結構よく見るようになったんですけれども、そういった点で何か担当課のほうにニーズとか、要望があることってありますか。

○ **保育課長（可児浩之君）** 今のところ、保護者の方から朝も預かっていただきたいというようなお声は、直接はお聞きはしていないんですけれども、特に都市部とかそういったところでは、教育長がおっしゃったように、そういった状況もあると思います。また、特に可児市は外国籍の方が多く、外国籍の方は朝早く工場とかに行かなければいけないということで、小学校ではないんですけれども、認可外の保育施設とか、善意で朝も預かっていただけるところは幾つかあるんですけれども、小学生については、なかなかそういう対応はやっぱり難しい現状があるということでございます。私

ども担当課としても、その辺のニーズというか要望は、直接はまだ聞こえてこないものですから、まだそういう検討をしている段階ではございませんので、御報告させていただきます。

- **教育長（堀部好彦君）** 確かにそうですね。都市部の報道ですかね、今よく見るのは。分かりました。

委員さん方、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

では、特にないようですので、この件については今後ともよろしくお願いいたします。

- **保育課長（可児浩之君）** ありがとうございます。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。

- **事務局長（飯田晋司君）** 私からは、3月議会の関係で何点かお話をさせていただきます。

市議会の第1回定例会は、2月27日に開会して3月22日に閉会をしました。まず一般質問です。一般質問を提出された議員が13名ありましたが、教育委員会の所管の質問が3名ございました。それに対して回答をしております。

3名について簡単に状況報告させていただきます。

1人目は、富田牧子議員からの命の安全教育についてという御質問です。

具体的には、ジェンダーや性暴力を含む包括的な性教育への取組についての質問だったんですが、こちらの答弁といたしましては、本市ではこれまでも命の安全教育の視点を取り入れた教育を行ってききましたが、新たに岐阜医療科学大学から助産師資格を持つ講師に来ていただいて、児童・生徒の発達段階に合わせた講話などを行っていることであったり、その内容を説明するとともに、本市の教育理念「子どもの命を守る」に基づいて、子供の命に関わる事件・事故を防ぐ取組を行っていくといった答弁をしております。

2人目が、前川一平議員から本市の子育て施策についてということで質問がありました。

具体的には、家庭を持つことによって起こり得る問題について、あらかじめ不安を解消する小・中学生への教育支援を行っているかという質問でした。

これは言葉だけで聞いていると分かりにくいかもしれませんが、今若い方々が家庭を持つことに対して、経済的なこともそうなんですけれども、いろんな問題に不安を抱いて、家庭を持つことに対してちゅうちょしたり、後ろ向きになっているという風潮があるんじゃないかという前提に立って、それを解消する施策を小・中学生に対して教育として行っているかという趣旨の質問です。

こちらの答弁ですけれども、質問のような教育支援は学習指導要領に示されておらず、実施はしていないとした上で、ただ、家庭や家族の大切さなどについて学習することが学習指導要領に示されているということで、本市の実際の取組について紹介をしております。また、学習指導要領には、時代とともに各家庭を取り巻く環境が変化していることから、多様な家族構成、家庭状況があることを踏まえて、各家庭や児童・生徒のプラ

イバシーに十分配慮する必要があると示されていることを説明しております。

3人目ですが、酒向さやか議員から、小・中学校における働き方改革への取組についてということで、具体的には本市の教員数の確保と勤務時間の現状、また西可児中学校で導入された学年チーム担任制の狙いと効果などについての質問でした。

こちらの答弁ですが、本市では定数は確保できているものの、加配については不足している学校があること、また時間外勤務については昨年度と今年度を比較し、小・中学校ともに減少していることなどを回答しました。西可児中学校の学年チーム担任制については、教育委員会は「笑顔の“もと”」を育む各校の特色ある教育活動を支援しているとした上で、西可児中学校がこの制度を導入した経緯や狙い、それによる効果について説明をしました。また、生徒や保護者、教職員の反応について紹介し、西可児中学校は今後成果の検証を行い、改善していく予定であると説明をしております。

続いて、補正予算と新年度予算についてですけれども、先月の教育委員会会議でも議案として御審議いただきました補正と新年度の予算について、議会において可決されております。

また、教育福祉委員会への報告として、3月13日、先ほど教育委員会会議の議案としても出ささせていただきましたが、可児市教育振興基本計画のパブリックコメントについて、教育福祉委員会で報告しております。

以上、議会についての報告でございますが、委員の皆さんも若干聞いておられるかと思いますが、インフルエンザによる学級閉鎖が引き続き複数発生をしている状況です。小・中学校、あしたから春休みに入りますけれども、感染状況に注視して新年度を迎えていきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思います。

私からは以上でございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（水野 修君）** それでは、お手元にお配りしました資料の中で、教育委員会名簿を御覧ください。

これは令和6年4月1日現在の名簿となります。委員さんの各個人情報載っておりますので、取扱注意ということでよろしくお願いします。こちら、担当学校、それから担当していただきます各役員、充て職のほうを記載しておりますので、また御覧になっていただきたいと思います。

それからもう一枚、カラー刷りA4横の資料でございますが、こちら充て職につきましての年度ごとの予定になっております。おおむねこのような順番でやっていただきたいと思いますので、御承知おきいただきたいと思います。

それからもう一つ、令和6年度可茂地区教育行事一覧表という冊子があるかと思います。A4横の冊子です。

こちらは、令和6年度可茂地区教育行事一覧表ということで、1年間の主な予定を分かっている範囲内でお入れしております。こちら今後の参考に見ておいていただきますよう、よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（佐野政紀君）** それでは、私からは3月の動きについて説明をさせ

ていただきます。

3月1日金曜日に臨時の教育委員会会議を開きました。人事内申書を見ていただきまして、その後学校への内示を進めました。現時点で令和6年度、4月1日スタート時の教員の定数の未配置はありません。全て配置ができました。

3月8日の中学校の卒業式、昨日25日の小学校の卒業式においては、先ほど、教育委員の皆様からの報告いただきましたけれども、出席をいただきました。コメントも添えていただきましてありがとうございました。コロナ禍前の制限の少ない卒業式に戻りつつあります。各学校の工夫で実施ができたと思っております。

私からは、少し視点を変えて多様性ということで卒業式を見ていました。市内の学校には、外国籍由来のお子様が可児市はたくさんいますけれども、少ない学校もあります。

私は旭小学校にお邪魔したわけなんですけれども、児童数は71名でした。多様性を、卒業式の日にどういう服装で来るのかという視点で私は見たんですが、71名の子、可児市はブレザーですけれども、女の子はブレザー、スカートという子が大半なんですけれども、ブレザー、スラックスの子が71名の子供たちの中に複数いたということです。男の子の中にブレザー、スカートの子はいるかなと思ったんですけれども、旭小学校はいませんでした。可児市は制服もいろいろ選択ができるということで、この子たちは中部中学校へ進級していく子が大半なんですけれども、今お姉ちゃんが使っているセーラーをそのまま受け継いで、その姿で卒業式に参加している子もいましたので、いろいろなタイプの姿があったかなと思っています。これも全て可児市は肯定しておりますので、そろえるところと違えるところを制服からも見ることができました。今の時代を反映しているものだと感じましたので、報告をさせていただきます。

学校に関わる動きの中で、先ほど事務局長から引き続き感染状況には注視していくという結びがありましたけれども、2月15日以降、インフルエンザに感染しての学級閉鎖は8校で20学級あります。全ては読み上げませんけれども、この状況は継続しているというのが学校の実態です。

希死念慮につきましては、後ほど担当のほうから説明をさせていただきますが、これから春休みに入っていきますので、担当の指導主事が可茂教育事務所に常に報告をして、対応しながら情報を共有しておりますけれども、最悪の状況にならないように、こちらにつきましても学校と共有しているところです。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。

○ **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** では、いつものように別冊の研究所よりを御覧ください。

私から大きく2点お願いいたします。

まず表紙裏面、2ページの下段を御覧ください。

先月ですが、教育研究所運営委員会を行いまして、そこで確認をいたしました次年度の方向、中でも教育委員の皆様にご参加いただいている笑顔の学校公表会について少しお話をいたします。

最初、教育長の報告でも話がありましたが、今年度、公表校はもちろんですけれども、可児市の先生方のおかげで大きな成果があったと実感しております。そのことを研究所だよりでも書かせていただいたので、また読んでいただくとありがたいんですけれども、

今年度の振り返りを受けて検討した結果、今後も動画発表による公表会とします。公表校の実践を自分の学校で動画を見て学んだ後、全職員で研究会を行うことで、自分の学校を振り返って今後の教育活動に生かすという位置づけで実施していきます。

3 ページを御覧ください。

中ほどに表があります。

平成30年度からスタートしましたこの公表会も、来年度で1 回目したことになります。2 回目目の順番につきましては、1 回目を基本としながら表のようにさせていただき、校長会で提案させていただいたところです。

そのほか研究所業務に関する次年度の方向につきましては、またお時間のございますときに御一読いただけると幸いです。

次、7 ページを御覧ください。

大きな2 点目です。

中段より下、令和6 年度新規採用教職員研修会について御連絡です。既に教育委員の皆様には案内をさせていただきましたけれども、4 月1 日月曜日11 時より総合会館5 階の大ホールにて行います。今年度と同様、校長先生方の出席はありませんが、その分、初任者の先生お一人お一人に自己紹介をしていただきたいと思いますと思っています。令和6 年度は、30 名の先生方に初任として勤務いただく予定であります。年度初めのお忙しい時期かとは思いますが、ぜひ御参加いただきますようお願いいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校給食センター所長（水野伸治君）** 学校給食は、昨日3 月25 日をもちまして、今年度203 日間の提供を終了させていただきました。

昨年6 月に台風の接近に伴う大雨警報の発令がございましたので、この日1 日は給食の提供ができない日がございましたが、大きな事故等もなく、皆様のおかげで何とか無事給食を提供することができました。ありがとうございます。

給食センターとしましては、本日から施設設備の点検、清掃、修繕等を集中的に行い、新年度を迎える準備をいたしまして、4 月からまた安全・安心な給食を提供できるよう努めてまいりたいと思っています。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、各課からお話がありましたけれども、御質問、御意見等ございますでしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 教育研究所よりの中で、3 ページの一番下に夏季研修講座とあるんですけど、その下から2 つ目の仮の題目なんですけど、「健康管理講座～え、私って、栄養失調だったの？～」とあるんですが、これはやっぱり子供たちの中で過剰なダイエットだとか、思春期だからあるあるだと思うんですけど、そういった問題が出ていたりするわけですか。

○ **教育研究所主任指導主事（三宅愛彦君）** ありがとうございます。

これですけれども、実は梶の木内科の医院長さんが、各学校と、教育委員会にも頂いたんですが、寄贈した本の題名がこうになっているんです。その本の内容では、子供ということではなくて大人のことが中心に書いてあって、私、初任者の担当をしていますけれども、若い先生方のお忙しい中でちょっと食生活が乱れたりというようなことは若干聞いておるものですから、梶先生に御講演をいただくということで、この講座

を行います。子供のことについては、ちょっと私今分かっていないので答えられないんですけども、そういう趣旨で企画したものです。

○ **教育委員（長井知子君）** 分かりました。ありがとうございました。

○ **教育長（堀部好彦君）** 私もこういう実態があるということは、本を読んで知りました。

ほか、ありませんか。よろしいですか。

○ **教育委員（梶田知靖君）** 意見といいますか、事務局長、あと教育長もお話しされてみえた西可児中学校の学年チーム担任制というのは、西濃学園の北浦理事長がおっしゃっていた話の中で、チームをつくることがとても大事ということをおっしゃってみて、西可児中学校で今学年チームで活動していらっしゃるところがすごい興味を持ちましたので、今度令和6年度、その成果、そういったところもまた報告をいただけるとありがたいと思います。

○ **教育長（堀部好彦君）** そうですね。各校の特色ある教育活動の一つということで、西可児中学校の実践については、どこかの場で、またここで共有できるといいと思います。事務局もその辺よろしく願いをします。

○ **教育長（堀部好彦君）** では、私から大きく2点お願いをします。

1点目ですが、事務局長から議会の報告をいつもしていただいております。これについては校長会、教頭会等でも同様に、議会で何が話題になっているのかということについての報告をさせていただいておりますので、御承知おきください。

あわせて教育委員さんへのお願いでございますが、いつも事務局長が教育委員会の事務局、または私が答弁をした中身について、要旨を分かりやすく伝えていただいておりますが、もしもう少し知りたいというようなことがありましたら、遠慮なしにお申しつけください。答弁書については公開もされていると思いますので、興味があれば御自分でホームページを開けばあるわけですが、特にこの答弁について知りたいということがありましたら、事務局に言っていただければ用意させていただきます。教育行政の理解をより深めていくという点で大切ではないかと思います。お忙しい中かと思いますが、そういった議会での動きについても、より勉強していただくとありがたいと、僭越でございますが、お願いをしたいと思います。これが大きく1点目です。

もう一点ですが、給食についてなんですけれども、給食については食の安全という視点も含めていろいろ報道が続いているかと思います。例えば、保育施設で大変痛ましい事故がありましたよね。リンゴを潰して与えるべきところを、そうではなく与えてしまったというようなところで、今当該の子供さんは命は取り留めたものの、ほとんど意識のないような状況のようです。ウズラの卵の報道もありました。そして、今給食ということではないですが、食紅のことで大きな話題になっているわけですが、いつも給食センター所長はそういった世の中の動き、食に関する事故等を踏まえて常に警戒をいただいているということ、よく伝わってきます。それについては、今後もより高いアンテナで状況をつかんで、対応すべきは共有して進んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いをします。

あと献立ですが、4月16日に入学・進級お祝い献立、私行かせていただきたいと思います。よろしく願いをします。

では、各課からの報告につきましてはこれで終わりたいと思います。

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** では、次に教育委員からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かございますでしょうか。

よろしかったですか。

- **教育委員（梶田知靖君）** 恵那市と瑞穂市だったと思うんですが、体育館の中にエアコンをつけるといった記事がありまして、それこそ災害時にも使えるガスヒートポンプと書いてあったような気がしますけれども、災害のときでも避難所として使えますよという記事がありました。瑞穂市は来年度、令和6年度、そういったところに力を注いでいくという記事も読みましたので、もし令和7年度、8年度というところでそういったところにも可児市、昨日もちょっとなかなか卒業式で寒かったと思いますけれども、そういう環境の中でスポーツもできるといいなという意味で、体育館に空調を設置するって、なかなか費用がかかることだと思うんですが、これは協議事項ではなく、どうでしょうか。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今話題にいただいたこの件については、一般質問でもかつて上がったものです。それこそ議会でどういった答弁をこちらがさせていただいたのかということについて、またお知らせするといいかと思うんですが、事務局長どうでしょうか。

- **事務局長（飯田晋司君）** 今のことに関して、今年度9月か12月の一般質問で、体育館へのエアコンの設置ということで質問が出されまして、私のほうから答弁をさせていただいております。

要旨としては、今、小・中学校のトイレの改修、洋式化を中心とした改修を令和6、7、8年度に十数億円かけてやっているということもございまして、現時点でなかなか体育館のエアコンの設置は難しいという回答をさせていただいております。

ではいつなのかということに関しても、なかなか今の時点では分からないということなんですけれども、これに関しては、当然のことながら検討していく事項として事務局ももちろんなんですけれども、認識をしておりますので、またしかるべきときが来たらではないですけれども、お話をする機会を設けさせていただければと思っております。

- **教育委員（梶田知靖君）** ありがとうございます。

- **教育長（堀部好彦君）** そういったところに関心を持っていただいて、こういったところで話題にさせていただくことも大変重要なことだということは思います。あわせて、繰り返しになりますけれども、議会での動きもよりつかんでいただけると、こちらでの提案事項も、それを踏まえたものになればさらにいいんじゃないかと思しますので、よろしくお願いします。

○ **教育委員（長井知子君）** 提案ではないんですけれども、御報告というかお聞きしたことなんです、昨日卒業式に行ったときに青少年育成会の会長さんとお話しさせていただいて、もともと私がPTA会長をしていたときからすごくよくいただいていた方なんですけれども、その方が、御存じかもしれないんですけれども、駅前の、

前もお話しさせていただきましたが、子供たちがたくさんいるという話ですが、前よりもひどくなっているとおっしゃっていました。その方は、毎日駅に見守りというか行っていて、そういう方たちが私たちの見えないところで、子供たちのためにそうやって動いてくださっている方がいるんだということを知っておくとか、分かっておくことが大切だなと思ったので、お話しさせていただきました。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今、前よりもひどくなっているという、現時点の、この4月、3月という状況でしょうか。

○ **教育委員（長井知子君）** 夏からこうなり始めたということで、夏からずっと毎日見守りに、夕方からちょこっと何時ぐらいまで行かれているか、わからないですけど、行っているんだけど、ここ最近前よりひどくなってきたから、何とかしないとということ言われていたので御報告です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

この件については、市民部の職員が関わってくださっていて、教育委員会とも連携を取りながら状況を把握して、排除するということではなくて、その子たちの気持ちや家での環境も含めて理解をしていくというスタンスで進めていこうということをやっています。

この件について、事務局から何か補足することはありますか。よろしいですか。

最近また大変だということは、貴重な情報ありがとうございました。

その他

○ **教育長（堀部好彦君）** では、次にその他に行きたいと思います。

次回の日程等です。

○ **教育総務課長（水野 修君）** 次回会議の日程でございますが、4月19日金曜日午前9時からということでお願いをしたいと思います。場所は市役所4階の第3会議室でございます。いつものところですが、よろしくお願いいたします。

また、その次の5月の日程ですが、こちらのほうで調整を今させていただいておるところではございますが、5月16日木曜日9時からということで思っておりますので、よろしくお願いいたします。会場は同じく市役所4階の第3会議室ということになりますので、お願いをいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** よろしく願いをします。

では、ここで休憩ということもあるんですけども、このまま続けさせてもらってもよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

引き続き会議を続けます。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） それでは、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前10時33分